

夢・未来 たからづか創生本部 平成 28 年度 第 1 回本部会議

日時：平成 28 年 8 月 8 日（月）10：00～11：00

場所：3－3 会議室

【次第】

1. 開会
2. 挨拶
3. 議事
議題 1 夢・未来 たからづか創生総合戦略の評価方法等について
議題 2 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）の評価について
議題 3 夢・未来 たからづか創生総合戦略の評価について
4. その他
5. 閉会

【配布資料】

- 資料 1 夢・未来 たからづか創生総合戦略の評価方法等について
- 資料 2 夢・未来 たからづか創生総合戦略 施策体系及び評価者
- 資料 3 夢・未来 たからづか創生総合戦略 評価スケジュール
- 資料 4 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）評価シート
- 資料 5 夢・未来 たからづか創生総合戦略 評価シート【具体的施策】
- 資料 6 夢・未来 たからづか創生総合戦略 評価シート【基本目標】

【出席本部員】※順不同

中川市長、井上副市長、須貝教育長、森上下水道事業管理者、谷本病院副事業管理者兼経営統括部長、上江洲理事、荒谷技監、福永企画経営部長、赤井行財政改革担当部長、中西市民交流部長、森本総務部長、尾崎都市安全部長、山中危機管理監、坂井都市整備部長、酒井健康福祉部長、酒井子ども未来部長、影山環境部長、土屋産業文化部長、石橋消防長、和田管理部長、西澤学校教育部長、立花社会教育部長、足立上下水道局長

【議事録】

（1）議題 1 夢・未来 たからづか創生総合戦略の評価方法等について

中川本部長：議題 1 夢・未来 たからづか創生総合戦略の評価方法等について事務局より説明をお願いする。

事務局：（資料 1～資料 3 に基づき説明）

中川本部長：何か質問、意見はあるか。
（質問、意見なし）

（2）議題 2 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）の評価について

中川本部長：議題 2 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）の評価について事務局より説明をお願いする。

事務局：（資料 4 に基づき説明）

中川本部長：何か質問、意見はあるか。

福永本部員：特産品等開発及び販路拡大支援事業について、⑥本事業における重要業績評価指標（KPI）

(企画経営部) と⑦本事業終了後における実績値の内容のところの数字が違うが関係が分かりにくいので補足いただきたい。

土屋本部長：⑥は事業採択した件数を記載しているが、最終的に取り下げや取り消しなど、補助金を支出しなかったケースもあり、⑦の実績値の内容と差異が出ている。⑦の実績値の内容をもう少し分かりやすくするため、表現を改める。

中川本部長：他に質問、意見はあるか。なければ承認ということによいか。

(異議なし)

中川本部長：それでは、議題2は承認ということにさせていただきます。

(3) 議題3 夢・未来 たからづか創生総合戦略の評価について

中川本部長：議題3 夢・未来 たからづか創生総合戦略の評価について事務局より説明をお願いします。

事務局：(資料5～資料6に基づき説明)

中川本部長：何か質問、意見はあるか。

中西本部長：有識者会議を経て、10月に本部会議で最終評価を行うこととなるが、実施計画への反映などはどのように考えていくのか。

事務局：今回、実施計画の提出時期を早めているが、最終的な査定の時期は、昨年度と同時期を予定している。

福永本部長：実施計画や戦略計画の作成は、有識者会議の前となるが、有識者の意見を踏まえ、計画の変更や修正がある場合は、最終査定までに反映させ、臨機応変に対応していく。

谷本本部長：資料5の1-(1)-①総合評価の阪神北広域子ども急病センターの利用者数について、年々減少傾向にあると記載されているが、その理由は何か。また、電話相談件数は増加しているとあるが、事前の電話相談により、病気への対応が解決され、そのことが利用者数の減少につながっているのか。

井上副本部長：ここで記載されている利用者数は、宝塚市民のみの利用者を記載しているのか。利用者数が、年々減少しているという意識はなかったか。

酒井本部長：利用者数は、宝塚市民の利用者数である。理由等、改めて確認し、内容を整理する。

(健康福祉部)

酒井本部長：KPIに市民アンケートの結果を掲げている具体的施策があるが、市民アンケートの今後の予定はどうなっているか。

事務局：今年度、市民アンケートを実施する。概ね2～3年ごとに実施している。

坂井本部長：資料5の具体的施策の評価シートについて、外部有識者の意見を受けて、最下欄に市の対応を示していくのか。

事務局：外部有識者の意見を受けて、市の考えた方や今後の対応を示していく。

上江洲本部長：評価シートについて、国の定型の様式等はあるのか。

(理事)

事務局：資料4の交付金の評価シートについては、国への実績報告の様式をベースに作成している。資料5、資料6の総合戦略の評価シートについては、国の様式等はなく、先行して実施している他市の事例等も参考にしながら、事務局で案を作成し、庁内検討会で最終まとめあげた。

上江洲本部長：施策評価表を例年作成しており、今回の評価シートと重複する部分もあるのではと感じる。

事務局：施策評価表は、システムで作成しており、総合戦略の評価を組み入れることが難しく、今回のような形をとった。施策評価表との関連付け等については、今後の課題と認識している。

中川本部長：出された意見の反映等は事務局にてお願いします。他に質問、意見はあるか。なければ承認

ということでしょうか。

(異議なし)

中川本部長：それでは、議題3は承認ということにさせていただきます。

中川本部長：本日の議事は全て、終了した。事務局より説明のあったとおり、今後、有識者会議を経て、10月に改めて本部会議を開催する。次回の会議では、今回の評価や有識者会議の意見を踏まえ、各施策に関連する本部員に今後の展望、重点的に取り組む事項等について、報告いただき、意見交換をしたいと考えているので、対応をお願いします。